地震ハザードマップ 南区

令和6年1月時点

0 500 1,000m
1：12,000

地震ハザードマップの説明

・このマップは、本市が平成26年2月に公表した南海トラフで発生する地震の被害想定をもとに、市内各地で想定される震度や液状化の可能性などを示したものです。
・南海トラフにおいて千年に一度あるいはそれよりももっと発生頻度が低いが、仮に発生すれば甚大な被害をもたらす地震として「あらゆる可能性を考慮した最大クラス」の地震を想定しています。

指定緊急避難場所への避難

名古屋市災害対策本部・南区本部(南区役所)
TEL／811-5161(代表)
823-9311～6(ダイヤルイン)
FAX／811-6360

官公署(□印)

- A 南区役所
- B 南消防署
- C 南消防署大同出張所
- D 南消防署大江出張所
- E 南消防署道徳出張所
- F 南消防署星崎出張所
- G 南土木事務所

凡　例

- **指定緊急避難場所(地震の揺れ、大規模な火事)【広域避難場所】** 地震・大規模な火事の指定緊急避難場所であり、大火災から避難者を守るための空間を有している公園・緑地など。
- **指定緊急避難場所(地震の揺れ)【一時避難場所】** 地震の指定緊急避難場所であり、一時的に避難して様子をうかがうところ。
- **応急給水施設(常設給水栓・仮設給水栓)** 広域避難場所などに整備しており、災害時には上下水道局職員や応援協定を締結している民間事業者が開設する施設。
- **応急給水施設(地下式給水栓)** 給水区域内全ての公立小中学校に整備されており、災害時には避難者自らが操作し、水を確保する施設。
- **災害応急用井戸(事業所)** 大地震発生時の生活用水(飲料水ではありません)の確保を目的とし、事業所、工場などが持つ井戸のうち、災害時に地域住民に提供いただける井戸。
- **土砂災害(特別)警戒区域** 土砂災害の発生のおそれがある区域。
- **区界**
- **学区界** (学区界はおおよそです。詳しくは、各区役所へお問い合わせください。)

※他区の指定緊急避難場所への避難可否は、各区の各種ハザードマップをご覧ください。名古屋市公式ウェブサイトで全区のハザードマップを公開しています。

指定緊急避難場所(地震の揺れ、大規模な火事)【広域避難場所】

記号	施設名称	指定緊急避難場所 地震の揺れ	指定緊急避難場所 大規模な火事
A	呼続公園	○	○
B	道徳公園	○	○
C	宝生公園	○	○
D	忠道公園	○	○
E	大江川緑地一帯	○	○
F	笠寺公園	○	○
G	白水公園一帯	○	○
H	日本ガイシスポーツプラザー帯	○	○
I	県立名古屋工科高等学校	○	○

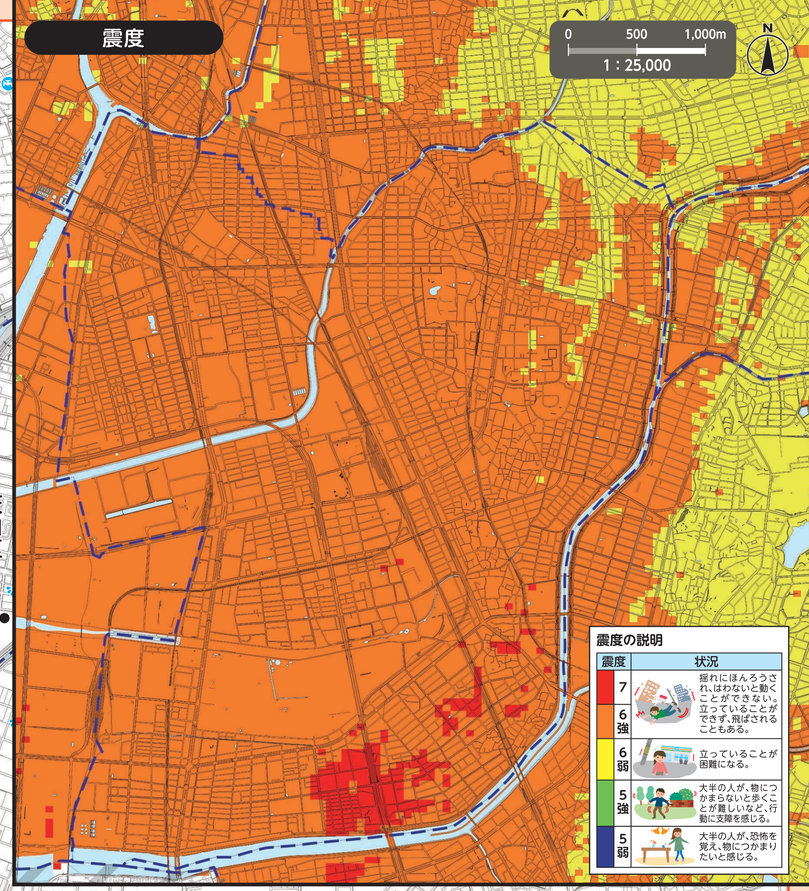
指定緊急避難場所(地震の揺れ)【一時避難場所】

記号	施設名称	指定緊急避難場所 地震の揺れ	指定緊急避難場所 大規模な火事
a	千鳥公園	○	×
b	水袋公園	○	×
市立小学校・中学校・一部の高等学校等のグラウンド(桜台高等学校、名古屋工科高等学校、名古屋南高等学校)※広域避難場所に含まれる施設については、大規模な火事にも対応		○	×

災害応急用井戸(事業所)

記号	施設名称
1	岡田工業(株)
2	宗教法人　誓願寺
3	大有建設(株)　大江工場
4	特別養護老人ホーム　ゆうあいの里大同
5	(株)サンラックス
6	(有)ツカサオート

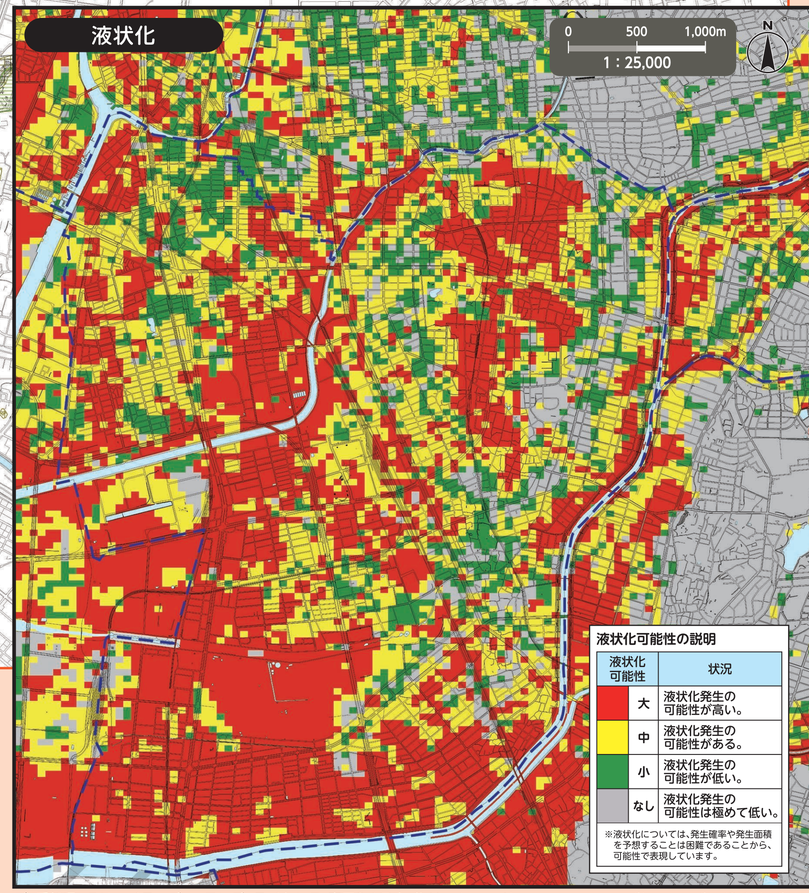
震度



震度の説明

震度	状況
7	揺れにほんろうされ、はわないと動くことができない。立っていることができず、飛ばされることもある。
6強	
6弱	立っていることが困難になる。
5強	大半の人が、物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。

液状化



液状化可能性の説明

液状化可能性	状況
大	液状化発生の可能性が高い。
中	液状化発生の可能性がある。
小	液状化発生の可能性が低い。
なし	液状化発生の可能性は極めて低い。

※液状化については、発生確率や発生面積を予想することは困難であることから、可能性で表現しています。

この地図は、平成27・28年作成の都市計画基本図を使用しました。なお、必要に応じて作成後の状況を修正しています。東海市については、同市の承認を得て都市計画基本図を使用しました。(承認番号　東海市：都第２９号)土砂災害情報マップ、愛知県、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示2.1日本 (http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/)